

産業技術総合研究所四国センター所長  
(兼) 四国産学官連携センター長

## 三 木 啓 司



### ご挨拶

人が生き甲斐と心の豊さを保ちながら自律的に社会参加できる「健康」を維持することは、少子高齢化が進む日本国民の大きな関心事です。さらに、新成長戦略では、医療・介護・健康関連産業が成長牽引産業と位置づけられ、健康維持にかかわる技術開発および健康関連産業振興の重要性がますます増大しています。

産業技術総合研究所は本年度第3期に移行しましたが、その中期計画においても、経済と環境を両立する「グリーン・イノベーション」とともに、国民生活向上のための「ライフ・イノベーション」の推進を掲げています。

このような背景から、産業技術総合研究所は、これまで培ってきた健康関連の研究資源を礎に、新たな健康関連産業創出に貢献するために「健康工学研究部門」を創設しました。拠点のある四国センターと関西センターが一体となって、自らの意志で生きがいを持って日常生活を営むための健康維持管理にかかわる工学的研究に取り組むことがその使命です。

中期計画は、加えて、地域活性化の中核としての機能強化を謳っています。四国センターは、先端的なバイオ技術とナノテクノロジー、材料やシステム開発技術の融合によるこれら健康工学の研究成果が、地域産業界に活用され、新たな産業分野進出の一助となるよう、「健康ものづくり」として積極的に発信、提案してまいります。また、四国の経済界や産業界、大学や公設試験研究機関などとの産学官連携に努めるとともに、全国に展開する産業技術総合研究所との結節点の役割を担い、四国の産業・社会の発展をめざします。

皆様の一層のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

### 沿 革

- |       |     |                                     |
|-------|-----|-------------------------------------|
| 昭和24年 | 5月  | 香川県工業試験場が国に移管され、商工省大阪工業試験所四国支所として発足 |
| 昭和42年 | 6月  | 四国工業技術試験所設立（大阪工業技術試験所四国支所を発展的に解消）   |
| 平成5年  | 10月 | 四国工業技術研究所と改称                        |
| 平成6年  | 7月  | 香川インテリジェントパークへ移転                    |
| 平成13年 | 4月  | 独立行政法人産業技術総合研究所四国センターに移行            |
| 平成14年 | 10月 | 単一分子生体ナノ計測研究ラボ設立                    |
| 平成17年 | 4月  | 健康工学研究センター設立                        |
| 平成20年 | 4月  | 健康工学研究センターにヒューマンストレスシグナル研究センターが加入   |
| 平成22年 | 4月  | 健康工学研究部門設立                          |

# 組織図

